



創立140周年

とべだより

令和元年8月30日

9月号

横浜市立戸部小学校



ふれあい、支え合うまち

学校長 柳澤 潤

正門わきの観察池には、ガマの穂が、かわいらしく並んでいます。わたが、はじけている様子に、季節の移り変わりを感じます。

この夏を元気に過ごし、笑顔の子どもたちが学校に帰ってきました。大事そうに抱えているのは、夏休みの作品です。すっかり日焼けしている子や、背が伸びた子、バツサリと髪を切って、気持ちを切り替えている子など、様々です。それでも、「おはようございます」のあいさつを交わすと、夏休み前のいつもの表情が現れます。休み明けの学校生活が、スタートです。

今年は創立140周年という、特別な一年です。7月14日に開催されたPTA主催の「ふれあいの夕べ」にも、大きな期待がありました。

例年は、各学年のふれあい委員、桜星会、おやじの会、旧ふれ委員の皆様などが出店し、とても賑やかになります。また、老松中学校からは、舞踊DAN、吹奏楽部の皆さんが、踊りと演奏で花を添えてくださいます。さらに、校庭には、トラック一周の線路が敷設され、地域で保存されている蒸気機関車（ミニSL）が走ります。このように、地域が総出で楽しむお祭りになります。

ところが、今年は、雨天となってしまいました。残念ながら、蒸気機関車の登場はありません。例年校庭に並んでいた模擬店も、校舎内で各ブースを作り、対応することになりました。雨天実施の経験は、今までありません。急な変更で、準備や運営は、課題が多かったことと思います。それでも、みんなの期待感は変わりませんでした。昼の開催時から、子どもたち、保護者、地域の皆様が次々と集ってきました。卒業生もたくさん来てくれ、校舎内の廊下や体育館が、人であふれました。屋内という限られた空間でしたが、例年のお祭りより、人と人との距離が近く一体感があったように思います。雨だったからこそ、「ふれあい」が一層深まったのだと思います。

「雨降って、地固まるですね」と、振り返りの会で伺った言葉が印象的でした。

周年の本年は、あらゆる場面でPTAや地域の皆様に協力していただいています。戸部のまちには、「わがまちのわが学校」との伝統があります。ふれあい、支え合う文化があります。戸部小もまちの中心として、皆さんに喜んでいただける文化を発信していきます。これからも、「子どもが主役」の学校づくりを進めていきます。

創立140周年記念の、とべスポ、とべコン、とべファンにも、どうぞ、期待をしてください。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。